

様式4

令和4年度 第3回学校運営協議会評価報告書

鳥取県立鳥取中央育英学校

校長 檜 佳憲

評 価 日	令和5年2月27日(月)	
評 価・提 言	学校の所見・改善策	
<p>1 学校自己評価(最終評価)について</p> <p>○地域探究の時間のアンケート結果をどう見るのか。探究を終えて評価が下がると、自己の役立ち感がなかったとも考えられる。</p> <p>○最終評価結果に異議なし。</p> <p>2 「地域探究の時間」について</p> <p>○町内の企業はどこも人手不足で、生徒が入口体験をする機会があればよい。夏休みなどにアルバイトとして働く機会の確保をしてはどうか。地域探究のテーマとセットで対応するのもよいと思う。</p> <p>○職場体験をして、イメージとのギャップを経験すると職業観が変わる。また、企業のPRの場にしたい。</p> <p>○職場に高校生の発想が入ると従業員の刺激になり変容が期待できる。高校生が商品を考え、販売して、その結果を反省して、再チャレンジするというような経験ができれば非常にいい。</p> <p>3 今後の本校の取組について</p> <p>○中学生はやりたいこと、学びたいことを明確に持っている。コース制を廃止してインパクトがなかった。</p> <p>○類型の名称がわかりにくい。類型ごとにキャッチフレーズをつけてはどうか。</p> <p>○アドミッションポリシーや目指す方向、生徒をどのように教育するかを明確にして発信すべき。</p>	<p>○来年度は「地域探究の時間」の実施方法を、より生徒が主体となるように変更する。</p> <p>○探究の最上位テーマを明確に設定して、生徒の興味・関心を主体とした探究にブラッシュアップしていきたい。また、長期休業中等のアルバイト(職業体験)もできるところから実施していきたい。</p> <p>○結果的にPR、発信が足りなかった。次年度はスクールポリシーを定め、しっかりと発信していきたい。</p>	